

# 西京消防署及び洛西消防出張所におけるアスベストの気中・塵中濃度調査業務委託仕様書

京都市消防局総務部施設課

(担当：日高、沼田 075-212-6642)

## 1 業務名称

西京消防署及び洛西消防出張所におけるアスベストの気中・塵中濃度調査業務委託

## 2 調査対象施設

- (1) 京都市西京区桂市ノ前町12番地 西京消防署
- (2) 京都市西京区大枝東新林町二丁目4番地 洛西消防出張所

## 3 業務内容

- (1) 気中アスベスト濃度測定
  - a 実施箇所は、「西京消防署」「洛西消防出張所」の下記指定箇所とする。
  - b 測定方法は、アスベストモニタリングマニュアル【第4.2版】(令和4年3月 環境省)に準拠すること。
- (2) 塵中アスベスト定性・定量分析
  - a 施設内における塵試料を指定箇所から採取すること。
  - b 使用する分析方法は、石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】(令和4年3月 厚生労働省)に準拠した定性分析・定量分析を実施すること。

## 4 試料採取箇所

試料採取箇所は以下とする。(別紙1、2参照)

- (1) 西京消防署
  - ・ 気中アスベスト濃度(7か所)  
屋外、1階(受付室、待機室(2室))、2階(湯沸室)、3階(倉庫、通信機室)
  - ・ 塵中アスベスト(1か所)  
3階理髪室
- (2) 洛西消防出張所
  - 気中アスベスト濃度(2か所)：1階(待機室)、2階(事務所)

作業時は飛散防止対策を行いつつ、防じんマスク等の個人用保護具を着用し、安全対策を十分に実施すること。

## 5 分析調査

- (1) 気中アスベスト濃度測定
  - PCM法により実施すること。
- (2) 塵中アスベスト
  - 試料採取後、以下の分析を行うこと。
    - ・ 定性分析：石綿含有の有無を判定
    - ・ 定量分析：含有判定された石綿の含有率を測定

## 6 資格要件

### (1) 試料採取者の資格要件

以下のいずれかを資格として満たす者とする。

- ・ 一般建築物石綿含有建材調査者または特定建築物石綿含有建材調査者
- ・ その他登録規定に基づく資格保持者

### (2) 分析技術者の資格要件

以下のいずれかを満たす者とする。

- ・ 石綿障害予防規則第三条第六項の講習修了者
- ・ 石綿分析技術評価事業認定の技術者（A ランク・B ランク）
- ・ 一般社団法人の偏光顕微鏡実技研修修了者

## 7 報告書

以下の項目を含む報告書を作成し、紙媒体 2 部及び電磁媒体 1 部を提出すること。

### (1) 気中アスベスト濃度想定

- ・ PCM 法による繊維数濃度の結果報告書
- ・ 分析技術者の資格情報（写し）
- ・ 測定中の状況写真

### (2) 塵中アスベスト

- ・ 石綿含有の有無（0.1%超の重量含有の確認）
- ・ 分析技術者の資格情報（写し）
- ・ 試料採取前後の状況写真

## 8 準拠法令

本業務において、以下の法令及びマニュアルに準拠すること。

- ・ 大気汚染防止法及び同施行令
- ・ 労働安全衛生法、石綿障害予防規則
- ・ 厚生労働省及び環境省によるアスベスト分析マニュアル

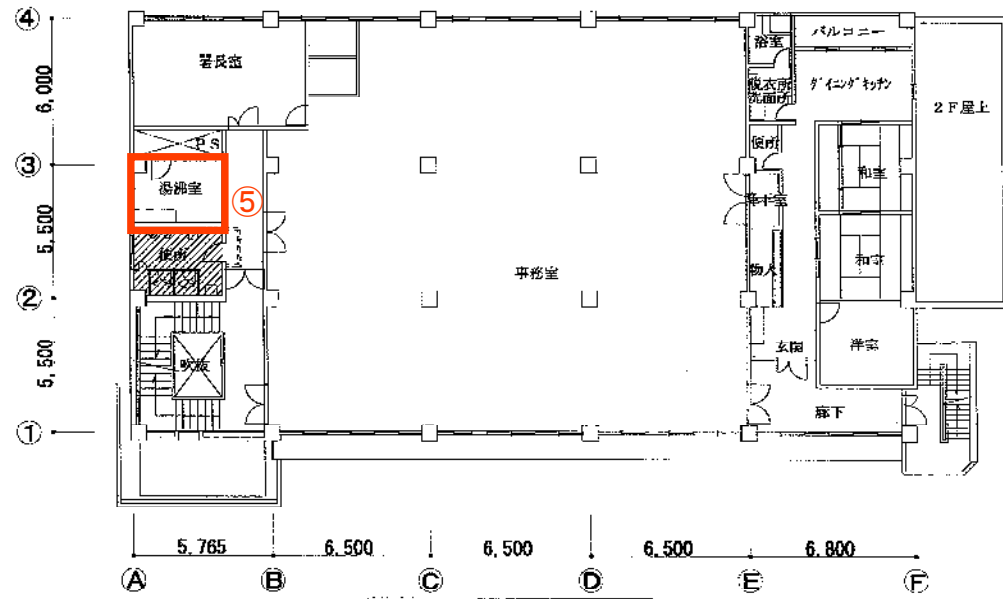
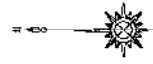
## 9 費用の負担

受注者は、次に掲げる費用を負担するものとする。

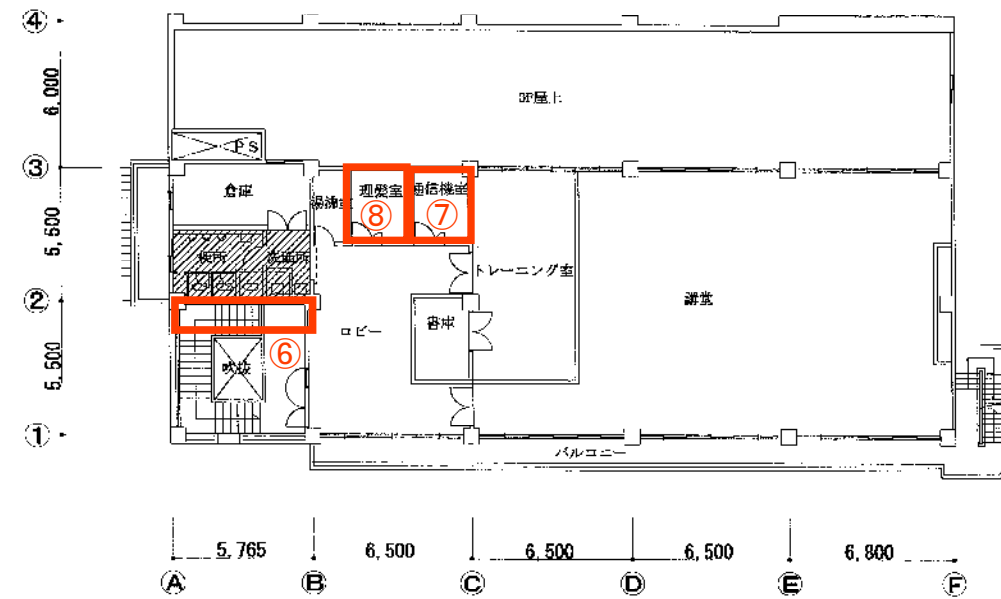
- (1) 本委託業務を履行するために必要な業務に係る人員物資の移動、運搬、報告書の作成及び提出に係る費用
- (2) 各種試験検査、写真撮影等に必要な費用
- (3) 試料を採取するための脚立、工具等に係る費用
- (4) 試料採取箇所の補修に要する費用

## 10 報告書提出期限

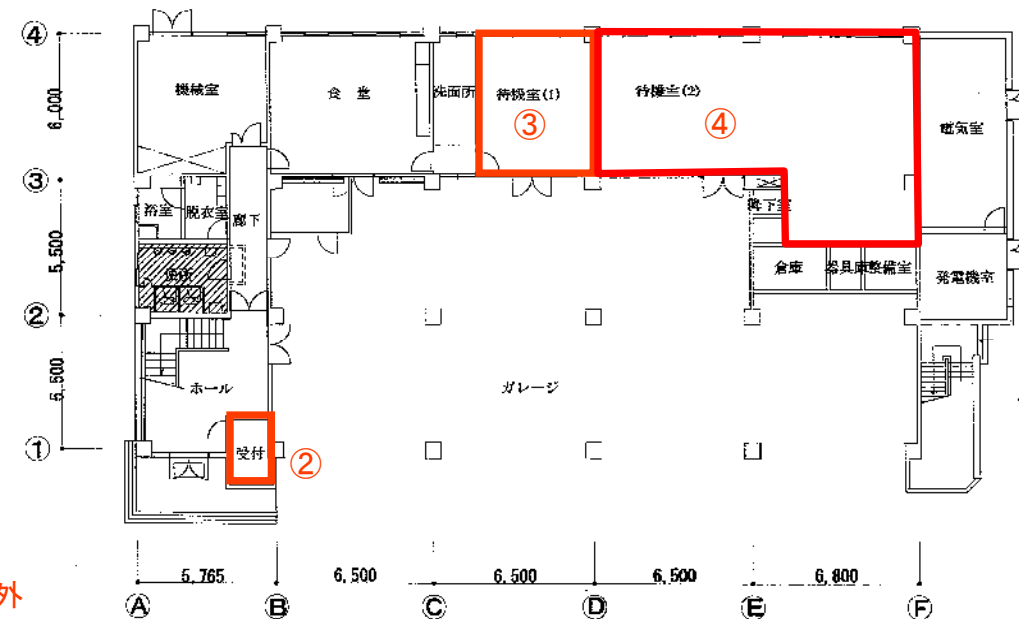
報告書提出期限は、契約締結から 1 か月以内とする。



2階平面図 S=1/200



3階平面図 S=1/200



①屋外

1階平面図 S=1/200

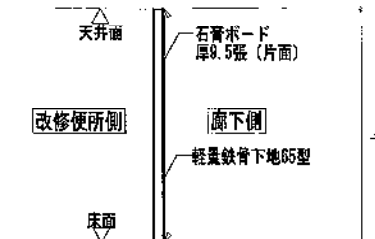
- 凡例
- : 改修工事対象部分を示す。
  - : 1, 2階: 仮設間仕切り位置を示す。(出入口は施錠とする)
  - : 3階: フェムテックH1,800を示す。(上部養生シート貼とする)

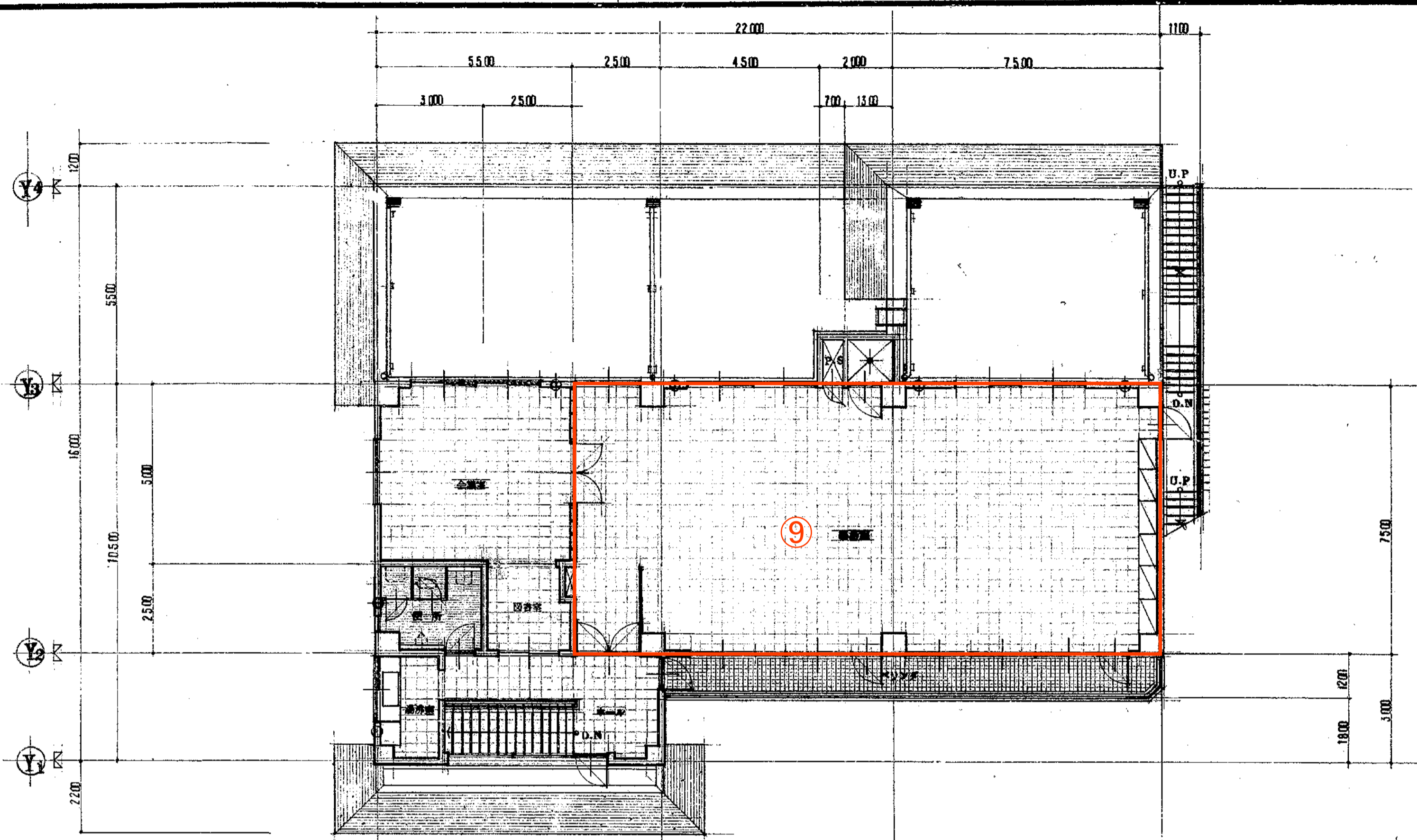
内部仮設計画

仮設間仕切り仕様  
軽量鉄骨下地65型、片面石膏ボード 厚9.5張

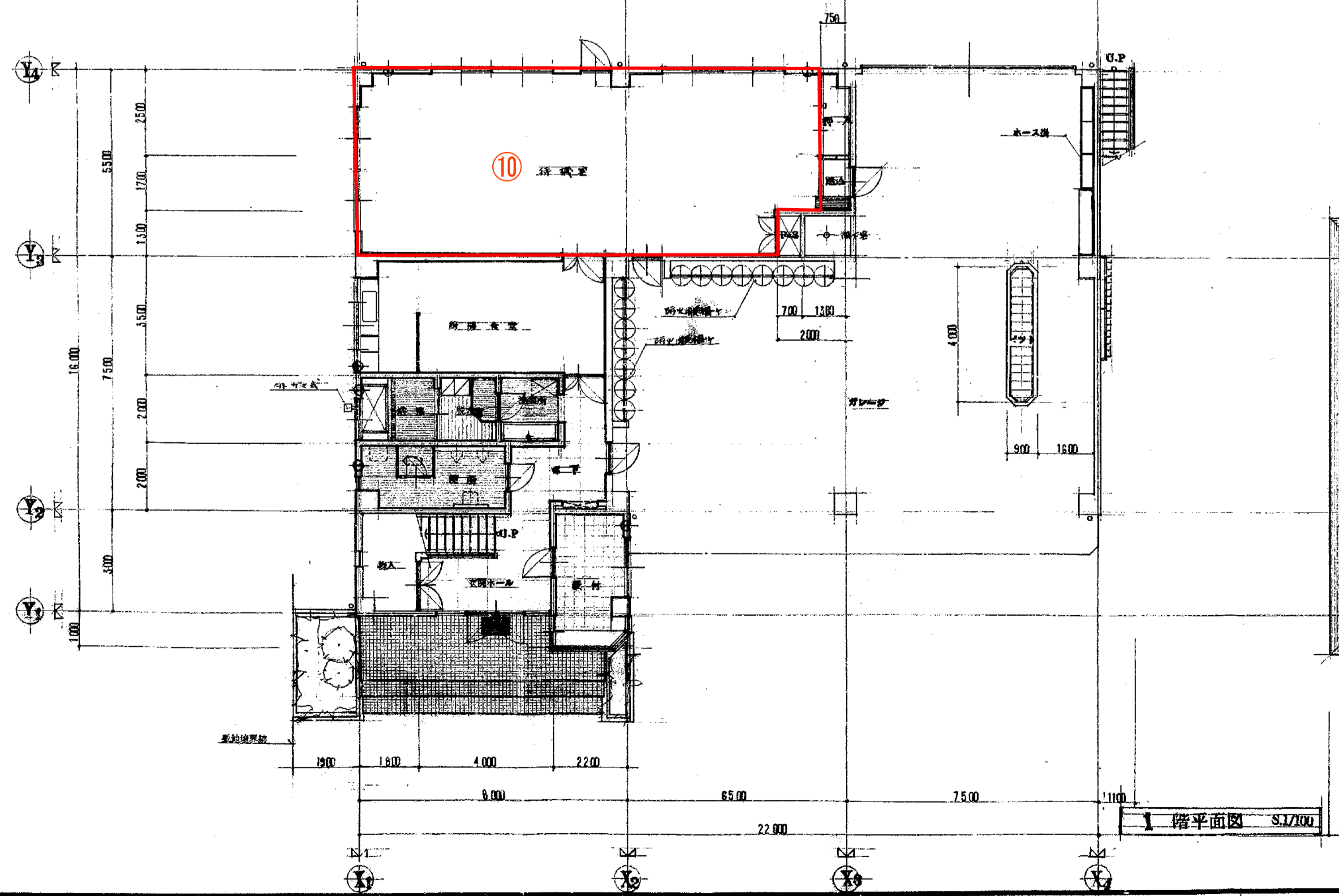
ほこり防止のため周囲をシールにて目止めを行う。  
(各箇所 出入口W900×H1800 1箇所)  
(h=F.Lから天井面まで全面、L=図示)  
(注) 上記仮囲いは、解体作業時のほこり止め、安全確保及び騒音防止のために設置する。  
間仕切り撤去時に既存の床、壁及び天井を汚損した場合は復旧を行うこと。

仮設間仕切り参考図 S=1/50



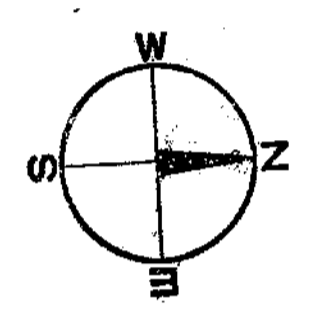


2階平面図 S1/100



1階平面図 S1/100

- < 凡例 >
- 二層高天井 (全20坪) 天井照明 (気流機付)
  - ⊕ 甲種防犯カメラ
  - ⊖ 乙種防犯カメラ
  - ⊗ 非常用照明
  - ⊙ 避難経路誘導灯



室名	床面積	有効床面積	有効延床面積	有効排煙面積
待機室	76.15	8.54	6.50	1.57
事務室	214.50	28.055	12.7875	6.82
会議室	33.75	7.80	3.90	2.08

建築面積表

13.000	×	22.000	=	286.000
3.000	×	8.000	=	24.000
1.200	×	8.400	=	10.080
(16.000 + 22.200 + 22.000) × 0.200	=		=	8.080
16.100	×	0.800	=	12.880
13.000	×	0.100	=	1.300
			=	342.340 (103.56)

1階床面積

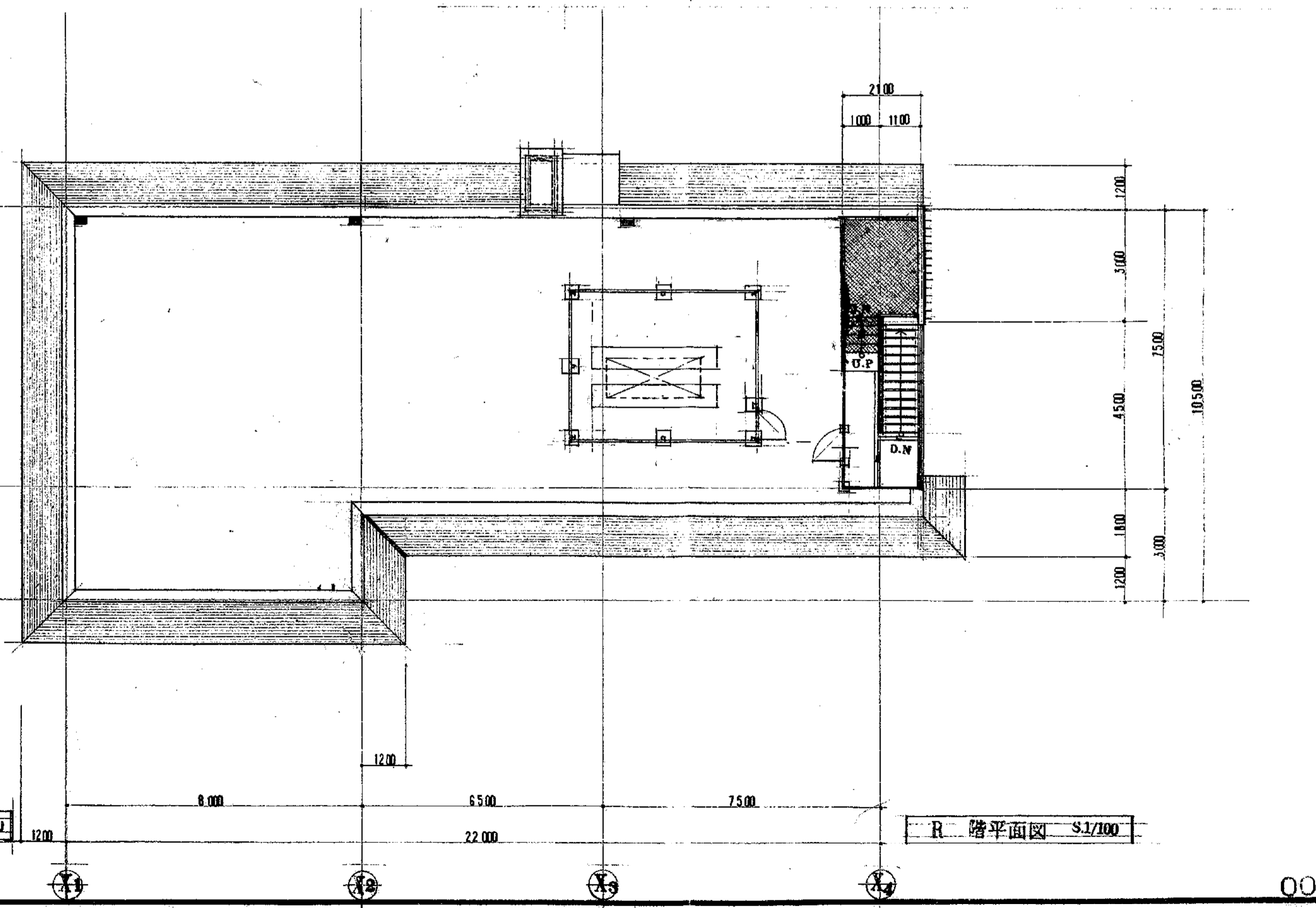
13.000	×	22.000	=	286.0
3.000	×	8.000	=	24.0
(2.200 × 1.000) - (0.5 × 0.5) × 2	=		=	2.075
			=	312.08 (94.40)

2階床面積

7.500	×	22.000	=	165.0
3.000	×	8.000	=	24.0
2.000	×	1.300	=	2.60
			=	191.60 (57.96)

延床面積

			=	503.68 (152.36)
--	--	--	---	-----------------



R階平面図 S1/100